



地溝帯ギャウは、アイスランドの世界文化遺産シンクベトリル国立公園にあります。930年に世界初の民主議会（アルシング）が開催された地で、1944年のアイスランド独立宣言もここで行われたとのこと。大西洋中央海嶺が地上に露頭した世界的にも珍しい地形で、ユーラシアプレートと北米プレートの間が、東西に年間2~3cm 広がり続けていて、南北に幾筋も亀裂が走っています。反対側の日本付近では北米プレートがユーラシアプレートの下に沈み込んでいます。

アイスランドは、人口約35万人、軍隊は0、火山と氷河（国土面積の11%）の北海道と四国を合わせたくらいの大きさの島国です。溶岩が流れて間もない真っ黒な大平原、少し年月が経って地衣類が散見される地域、さらに時間が経過した草原が混在。大きな木がほとんどないことと氷河を除くとハワイ島と似た光景も見られます。車で移動中、急に曇って雪や霰が降って一面の銀世界になったり、また晴れて草原に陽が差したりと、「一日に四季がある」と言われるそうです。



島南端に近いスコガ博物館には、漁具等の他、伝統的民家・教会・学校も展示されています。民家は三方の壁を石積、それに勾配梁で木造屋根を架け、断熱と防水の為に土と草で覆った構造で、木造の南壁のみに開口部があります。木材は全て島外から持って来たものと思われ、寒さ対策と省木材を追求した結果の設計です。

スコガ博物館



ゴールデンサークルと言われる観光コースに、シンクベトリル国立公園の他、グトルフォス（黄金の滝）とゲイシールがあります。グトルフォスはラング氷河から溶岩平原に流れ出したヴィータウ川の中流部、落差 15m と 30m の 2 段・幅 70m の豊富な水量の滝で、水力発電所建設計画から滝を守った少女の像もありました。ゲイシールは英語 Geyser の語源となった間欠泉です。高さ 70m 程噴出していたグレートゲイシールは活動休止中で、今は隣のストロックル間欠泉で 5 分間隔 30m 程の温水噴出が見られます。



グトルフォス 虹がかかっている



ストロックル間欠泉



5 分間隔で温水噴出



ヘトリスヘイジ地熱発電所



世界最大露天風呂 ブルーラグーン

アイスランドの発電は水力 7 割・地熱 3 割で、化石燃料頼りから脱却、さらに英国への電力輸出も検討されているそうです。ヘトリスヘイジ地熱発電所では、三菱や東芝のタービンが稼働していました。発電後の温水はレイキャビク（首都:人口約 12 万人）の高台にあるペルトラン展望台（貯湯タンク）に供給され給湯・暖房や消雪に利用されています。他にも地熱発電所が多数あり、余熱は温泉施設、野菜栽培の温室や魚の養殖にも利用されています。



ヨークサルロン氷河湖



ジュエリーアイス



ライチョウ

氷河や氷河湖周辺の散策路では、ライチョウやゴマフアザラシ、そして氷河の氷が海に流れ出して波で洗われ海岸に打上げられたジュエリーアイスも見られました。レイキャビク中心のハトルグリムス教会の前には、コロンブスより早く1000年に、グリーンランド経由で米大陸を発見したエイリクソン像が立っています。ホフジーハウス（元フランス領事館・現迎賓館）では、米ソ中間点ということで1986年にレーガン・ゴルバチョフ会談が行われました。

レイキャビク沖のヴィーズエイ島には、ジョンレノンのイマジンピースタワー（光のモニュメント）があり、かなり遠くからも見えていました。毎年ジョンの誕生日10/9～命日12/8までと、イースターと12/31に点灯されるそうです。



ハトルグリムス教会と
エイリクソン像



この旅行中にパリのテロがあり、港の「陸のクジラ」（コンサートホール・コンファレンスセンター）は、夜にフランス国旗のトリコロールに電飾されていました。

アイスランドはIT先進国で、2015年時点でも1週間程の旅行中に現地通貨を1度も手にしないで済みました。人手を省く仕組みが充実していて、地方の無人有料トイレも含めて、全てクレジットカードが利用できました。男女平等は世界一とのこと。北極線付近なので冬の夜長もあってか読書家が多いそうで、アイスランド語を読める30数万人に対して3万部を超えるベストセラーもあるとのこと。11月の日の出は9時過ぎ、日の入りは17時頃で夜が長く、その分オーロラを見られる可能性が増加します。この旅行では、往路コペンハーゲンからの機中を初め、成田への帰路のロシア上空まで、計5回見られました。1度はホテルの中庭の温泉露天風呂で頭上のオーロラを鑑賞しました。地球のエネルギーを実感でき、少ない人口で形成された独特の社会を垣間見ることができる、なかなか面白いところです。

世界中で新型コロナウイルスも克服されて、また気楽に旅行を楽しめるように、早くなってほしいものです。

(写真撮影：2015.11.09～14)



<google 地図参照>

シンクベトリル国立公園	https://www.google.co.jp/maps/@64.2598879,-21.1244639,16.14z
スコガ博物館	https://www.google.co.jp/maps/@63.5268319,-19.4928644,16.89z
グトルフォス	https://www.google.co.jp/maps/@64.3357153,-20.1296868,12.69z
ストロククル間欠泉	https://www.google.co.jp/maps/@64.314555,-20.3112534,13.61z
ヘトリスハイジ地熱発電所	https://www.google.co.jp/maps/@64.0380639,-21.4038551,14.95z
ペルトラン展望台	https://www.google.co.jp/maps/@64.1294715,-21.9191964,17.29z
ブルーラグーン	https://www.google.co.jp/maps/@63.8808621,-22.4500723,16.2z
ヨークサルロン氷河湖	https://www.google.co.jp/maps/@64.0773428,-16.2330589,11.76z
ハトルグリムス教会	https://www.google.co.jp/maps/@64.1422022,-21.9270877,16.69z
イマジンピースタワー	https://www.google.co.jp/maps/@64.1635368,-21.8593938,17.6z